

2011年6月10日 東北大学による東日本大震災3か月後報告会
於・仙台国際センター会議室「橘」

歴史遺産レスキューの3か月

被災地での活動と所蔵者・地域



東北大学東北アジア研究センター助教
佐藤 大介

報告の内容

- 1 東日本大震災後の歴史遺産(資料)レスキュー
 - ・活動組織
 - ・実際の活動ー水損資料を中心に
- 2 歴史遺産レスキューと被災地・被災者



東日本大震災後の歴史遺産(資料)レスキュー

宮城県・岩手県沿岸南部 6月10日現在の状況

被災資料の情報	545件
被災状況の確認	47件
資料レスキュー実施	のべ25件

広大な被災地域 多くの歴史遺産が被災
津波などで消滅したものも多数

東日本大震災後の歴史遺産(資料)レスキュー

活動の担い手

1 仙台地区の大学

- ・東北大学 東北学院大学 宮城学院女子大学 尚絅学院大学

2 NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク

- ・大学と連携 ボランティアの受け皿に

3 地元の史料保存機関・行政の担当者

- ・東北歴史博物館 仙台市博物館・市史編さん室
- ・各地の行政担当者 被災者対応の合間に被災状況調査

東日本大震災後の歴史遺産(資料)レスキュー

全国からの支援

3 全国の史料ネット・大学・関係機関

- ・ボランティア 史料ネット(神戸) 山形史料ネット
神奈川大学常民文化研究所 ほか
- ・応急処置 東北芸術工科大 京都造形芸術大

4 文化庁・文化財救援委員会

- ・物資・車両などの確保
- ・水損古文書の凍結乾燥処理
奈良文化財研究所
奈良市場冷蔵株式会社 ニチレイ・ロジスティクス東北

最大の懸案 津波で水損した歴史資料の保全で連携

東日本大震災後の歴史遺産(資料)レスキュー

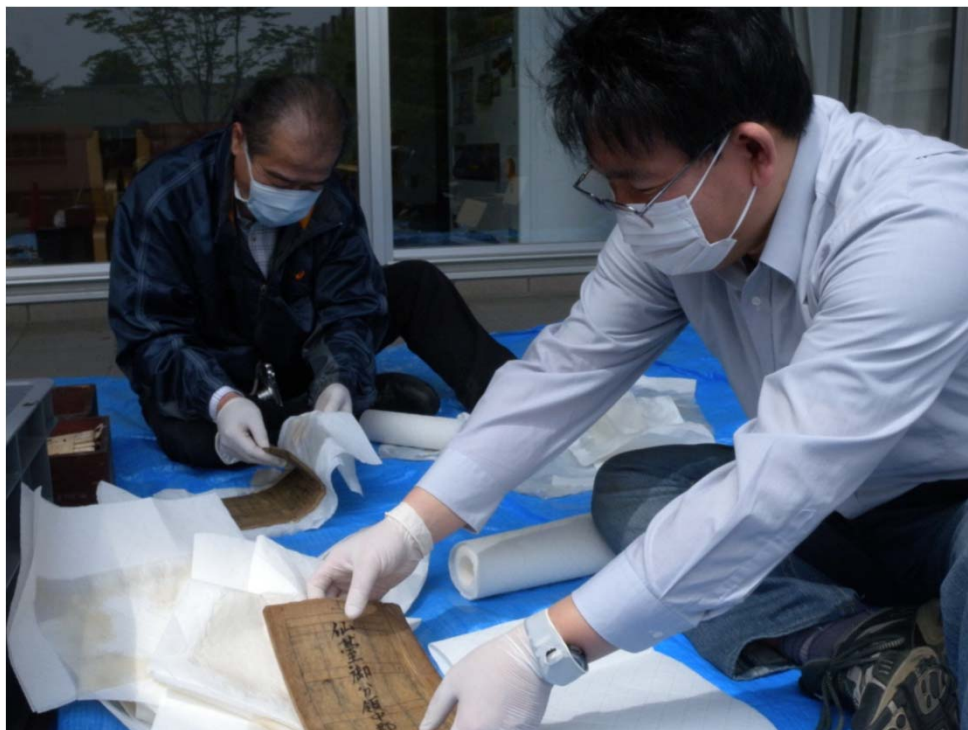
岩手県大船渡市S家水損資料のレスキュー



5月5日 大船渡市の協力者より第一報 翌日に仙台へ搬出

東日本大震災後の歴史遺産(資料)レスキュー

5月7-8日 岩手県大船渡市S家水損資料のレスキュー



事務局での応急処置
京都造形大・大林賢太郎氏の技術指導
全国からのボランティア参加

東日本大震災後の歴史遺産(資料)レスキュー

岩手県大船渡市S家水損資料のレスキュー(5月7-8日)



東北大学史料館での凍結処理(一部)
5月13日 奈良市場冷蔵(大和郡山市)へ向け発送

関係者の連携 最短時間で古文書資料を保全へ

歴史遺産レスキューと被災地・被災者

石巻市門脇・本間家所蔵資料レスキュー(4月8日)



撮影 齋藤秀一(4枚とも)

段ボール50箱あまりの資料 東北歴史博物館へ

歴史遺産レスキューと被災地・被災者

石巻市門脇・本間家土蔵(2011年4月12日)



撮影 中村彩

明治30年築の土蔵 当初は解体の意向

歴史遺産レスキューと被災地・被災者



建築チームによる調査 4月12日
当日中に報告書を作成

歴史遺産レスキューと被災地・被災者

石巻市門脇・本間家土蔵(2011年4月12日)

建築チームの調査結果

- ・「致命的損傷なし」
- ・応急処置 床下の泥さらいは不可欠
- ・屋根は最低限の修理が必要

上記内容の報告書を御当主に手渡す

歴史遺産レスキューと被災地・被災者

石巻市門脇・本間家土蔵(2011年4月17日)



津波で湿った土蔵一階の床板を外し部材を乾かす(撮影・斎藤善之)

所有者自らが報告書に沿った応急処置を実施
解体から**保存**へと転換

歴史遺産レスキューと被災地・被災者



津波に耐えた土蔵 災害の記憶として保全へ
(5月24日 地元郷土史サークルより石巻市長へ要望書提出)

歴史資料と被災地・被災者

仙台市・Y家文書(2011年5月10日)



代々保管されていた古文書 今回の津波で被災

歴史資料と被災地・被災者

仙台市・Y家文書(2011年5月10日)



事務局での応急処置
エタノール噴霧での消毒 扇風機での乾燥

歴史資料と被災地・被災者

Y家 先祖は近江国(滋賀県)の出身 伊達政宗により登用

古文書 寛永年間(1624-44)の知行目録

江戸時代初期の仙台藩

1611年慶長津波 その後の沿岸部での新田開発
集落形成期の状況を示す貴重な内容

2011年津波 現住地から集落ごと移転の可能性

「新しい集落 歴史をふまえたものに」

古文書の活用 景観も含む地域の記録を依頼される

歴史資料と被災地・被災者

女川町・木村家文書(2011年5月12日)



同町文化財指定の大肝入文書
地元教育委員会からの要請で保全

歴史資料と被災地・被災者

木村家文書 保全までの経緯

- ・3月11日 津波で所蔵者方も含む**集落壊滅** **古文書流出**
- ・4月27日 2キロ対岸の集落(**津波で壊滅**)に**漂着した茶箱発見**
地元住民(被災者)から町文化財保護係へ届けられる
(町役場も**津波で壊滅**／**避難先の事務室へ**)
- ・5月12日 仙台に引き取り
- ・5月13日 他の水損資料とともに奈良市場冷蔵へ発送



歴史資料と被災地・被災者

沿岸被災地 現在でも厳しい状況

- ・歴史資料に心を寄せる所蔵者・被災者
- ・歴史をふまえた地域復興への取り組み

災害時の歴史資料レスキュー・保全活動

文化財・歴史資料の持つ社会的意味

歴史遺産の防災・保全 善意任せは限界

新たなしくみづくり 今後の課題に